

標準仕様書  
【天然大理石】

防滑改修工事「ウルトラUVコート」&防汚処理『ウルトラガード』

## 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の基本的枠組み

### 基本方針(主務大臣)

- ・ 移動等の円滑化の意義及び目標
- ・ 公共交通事業者、道路管理者、路外駐車場管理者、公園管理者、**特定建築物の所有者が移動等の円滑化のために講ずべき措置に関する基本的事項**
- ・ **市町村が作成する基本構想の指針** 等

### 関係者の責務

- ・ 関係者と協力しての施策の持続的かつ段階的な発展(スパイラルアップ)【国】
- ・ 心のバリアフリーの促進【国及び国民】
- ・ **移動等円滑化の促進のために必要な措置の確保【施設設置管理者等】**
- ・ 移動等円滑化に関する情報提供の確保【国】

### 基準適合義務等

**以下の施設について、新設等に際し移動等円滑化基準に適合させる義務  
既存の施設を移動等円滑化基準に適合させる努力義務**

- ・ 旅客施設及び車両等
- ・ 一定の道路(努力義務はすべての道路)
- ・ 一定の路外駐車場
- ・ 都市公園の一定の公園施設(園路等)
- ・ **特別特定建築物(百貨店、病院、福祉施設等の不特定多数又は主として高齢者、障害者等が利用する建築物)**

特別特定建築物でない特定建築物(事務所ビル等の多数が利用する建築物)の建築等に際し移動等円滑化基準に適合させる努力義務(地方公共団体が条例により義務化可能)

以上の様にバリアフリー新法において、基準が追加され施設管理者への義務化及び努力義務化が盛り込まれるようになりました。

平成24年7月31日施行のバリアフリー新法に『床の滑り』第4章10に評価指標はJIS A 1454に定める床材の滑り性能試験によって測定される滑り抵抗係数(C・S・R)を用いると明記されました

## 工事目的 <すべり転倒事故防止対策工事>

雨天時など、床面が濡れた状態のときに起こりうる「滑り転倒事故」の危険性を、飛躍的に改善することを主な目的とする工事です。

床材に適合した『ウルトラUVコーティング』を使用します。

ウルトラUVコーティングは樹脂を瞬時(2秒)に固める最新コーティング技術で、床や壁等を長期耐久化させることができます。

また、骨材(砂やアルミの粉)を使用しての滑り止め加工など様々な分野に応用できる米国の最新技術です。

# 施工手順

## ① 現場養生

歩行者通路の確保、立ち入り禁止柵などを現場状況に合わせて行い、安全施工の作業場を確保します。  
水はねや浸水の恐れのあるところを養生して、構造物を保護します。

## ② 施工前洗浄

対象となる床面を洗浄します。  
汚れの状態に合わせて適切な洗浄剤を選択し、洗浄を行います。

## ③ 水分除去

床表面の水分を完全に除去、乾燥します。

## ④ プライマーの塗布

床材にプライマーを均一に塗布し15分ほど放置します。

## ⑤ アンダーUV硬化樹脂の塗布

下地用のUV硬化樹脂の塗布を均一にローラーなどで塗布します。

## ⑥ UV照射機による硬化作業

紫外線照射機による硬化作業。約2秒という超短時間で硬化します。

## ⑦ 骨材の散布

床表面に防滑効果のある『骨材』を専用機材で散布します。

## ⑧ トップUV硬化樹脂の塗布

上塗りのUV硬化樹脂の塗布を均一にローラーなどで塗布します

## ⑨ UV照射機による硬化作業

再度、紫外線照射機による硬化作業。

## ⑩ ウルトラガード含浸性防汚剤の塗布(オプション)

抜群の防汚性能を誇る『ウルトラガード』を全体に塗布し、直ちにウエス等で拭き取り約1時間乾燥すると、含浸性防汚剤が完全に硬化し作業は終了

## サンプル大理石施工風景

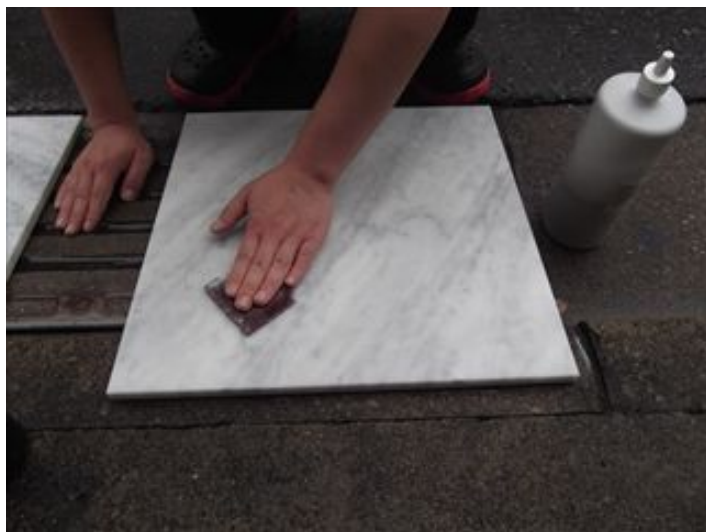


写真-1(②前洗浄)



写真-2(③水分除去)



写真-3(④プライマー塗布)



写真-4(⑤アンダーUV樹脂塗布)

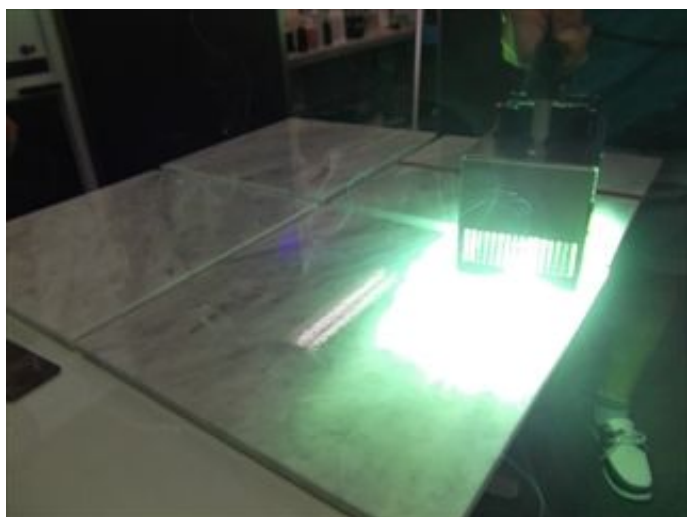


写真-5(⑥UV照射による硬化)



写真-6(⑦ 骨材の散布)



写真-7(⑦骨材の散布 拡大)

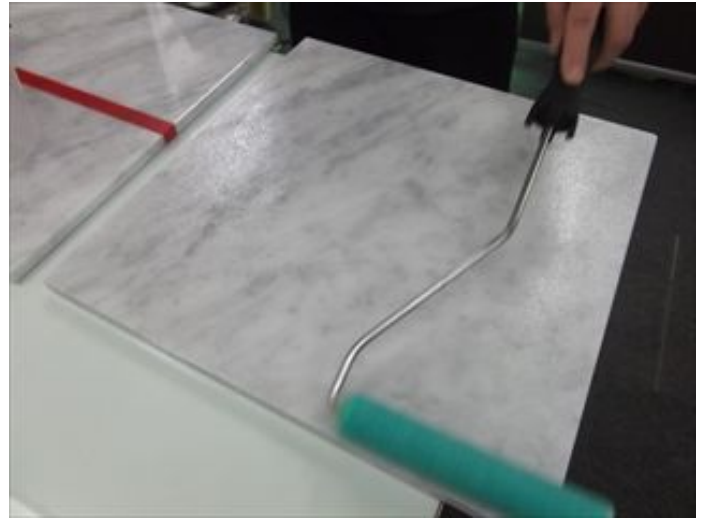


写真-8(⑧トップUV樹脂塗布)



写真-9(⑨UV照射による硬化)



写真-10(⑩ウルトラガード塗布&拭き取り)

## 品質管理

### ◇すべり抵抗係数検査方法について

ご依頼に応じて、携帯型すべり抵抗係数試験機(ONO・PPSM)を使用したすべり抵抗係数試験を施工前・施工後に実施します。(C.S.R で管理します。)

## 安全管理

### 工事現場内の安全管理対策について

#### ◇KY活動

作業前ミーティングの中でKY活動を実施し、施行の進行状況に合わせて重点項目を掲げ、臨機に対応、改善していきます。

#### ◇現場管理

工事時間中有能な現場管理人を常駐し、工事現場内における安全に関する巡視、点検、歩行者誘導を行います。

#### ◇装備

腕章もしくは身分証を携行した、適切な装備の作業員による施工を行います。  
また、作業員には作業に適した服装の着用を徹底させます。

#### ◇施工方法

一般者の通行を妨げないよう、出入り口の施工は原則として反面ずつ行うこととします。また、第三者への薬剤の付着や洗浄水の飛散には十分注意し、安全かつ衛生的に行います。

#### ◇その他

運搬車両の安全運転に注意し交通法規等を厳守します。  
作業場付近には安全防護柵等を設置して、歩行者に注意を呼びかけます。  
保守点検を実施した機材の使用、薬剤の保管など安全に万全を期します。  
万が一、作業過程において第三者に対して損害を与えるような事態になった際は、速やかに対処し、当方の責において対応します。

## 施工後のメンテナンス

外部の場合の主な汚れは排気ガス(油分)、雨水による水垢、ホコリ、砂などが考えられます。  
洗浄しないことで防滑効果は失われることはありませんが、表面の汚れは避けられません。  
その際は中性洗剤を使用し、やわらかめのブラシで洗浄してください。